

講義名	リーダーシップ養成A			授業形態	
担当教員	電谷 涼 / 田邊 良祐	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	LBA112
主題と概要					
グローバル化が加速し、社会構造が複雑化する現代において、リーダーシップの重要性はますます高まっています。本講義では、未来社会を担う大学生が、多様な価値観を尊重し、周囲を巻き込みながら、変化を恐れず自ら行動できるリーダーシップを育成することを主題とします。 本講義では、講義、演習、フィールドワークを通して、リーダーシップの基礎概念、スキル、および実践力を体系的に学びます。特に、フィールドワークでは、地域社会や企業と連携し、現実の課題解決にチームで取り組みます。机上での学習にとどまらず、実践を通してリーダーシップを体感し、成長を促します。					
到達目標					
本講義を修了することで、学生は以下の能力を身につけることを目標とします。 リーダーシップの概念を理解し、自らのリーダーシップ観を形成できる。 思考力、コミュニケーション能力、チームビルディング能力を習得し、実践できる。 論理的思考力、問題解決能力を身につけ、現実の課題解決に貢献できる。 多様な価値観を尊重し、多様な人々と協働できる。 変化を恐れず、自ら行動し、周囲を巻き込むことができる。					
提出課題					
様々なワークシートを授業内で作成する。 「フィールドワーク」の体験や成果を示した展示プランの作成と発表					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
成果物や提出物は、授業中に講評・解説する。 フィールド演習での展示物、発表は、受講生との相互評価により、フィードバックを受ける。					
評価の基準					
フィールド演習への取り組み状況、成果物の質、発表内容などを総合的に評価する。					
履修にあたっての注意・助言他					
講義、演習、フィールドワーク全てに積極的に参加し、自ら学びを深める姿勢が重要です。チームで協力し、互いを尊重しながら課題に取り組むことが求められます。本講義は、自己成長を促すための場です。自身の課題と向き合い、積極的に改善を図ってください。リーダーシップを発揮する上で、高い倫理観を持つことが重要です。多様な意見や価値観を尊重し、差別や偏見のない態度で人と接してください。 第6～10回の「フィールド演習」については、2025年5月31日（土）に集中授業として実施します。このフィールド演習を欠席した場合は、単位認定を行わない場合があるので、必ず「欠席届」を提出すること。これをもって単位認定の可否を判断します。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.なし。					

その他	
授業中に配布する	
授業計画	
第1回：自己紹介とリーダーシップ 予習内容：リーダーシップに関する書籍や記事を読み、自分にとっての理想のリーダー像をイメージしておくこと。過去の経験で、リーダーシップを発揮した場面や、チームで協力して目標を達成した経験があれば思い出しておくこと（120分） 授業内容：講義内容やディスカッションで出た意見を整理し、自分自身のリーダーシップ観をまとめること。 リーダーシップに関する参考文献を読み、さらに理解を深めること（120分）	
第2回：コミュニケーションスキル 予習内容：コミュニケーションに関する書籍や記事を読み、様々なコミュニケーションスキルについて学ぶこと。 自分のコミュニケーションスタイルを振り返り、改善点があれば考えておくこと（120分） 復習内容：講義や演習で学んだコミュニケーションスキルを、日常生活で意識して実践してみること（120分）	
第3回：共感性 予習内容：コミュニケーションに関する書籍や記事を読み、様々なコミュニケーションスキルについて学ぶこと。 自分のコミュニケーションスタイルを振り返り、改善点があれば考えておくこと（120分） 復習内容：講義や演習で学んだコミュニケーションスキルを、日常生活で意識して実践してみること（120分）	
第4回：ディベート・ディスカッション 予習内容：論理的な思考力や批判的的思考力を高めるためのトレーニングを行うこと（120分） 復習内容：ディベート・ディスカッションで学んだことを、日常生活で議論する際に意識してみること（120分）	
第5回：フィールド演習事前学習 予習内容：フィールド演習先の情報（場所、目的、活動内容など）を事前に調べておくこと（120分） 復習内容：フィールド演習で必要なスキルや知識を復習しておくこと（120分）	
第6～10回：フィールド演習 予習内容：各チームで事前に計画を立て、役割分担や準備を行うこと。よってフィールド演習に必要なスキルや知識を復習する（120分）。フィールド演習の場所についてインターネット等で調査し整理する（120分）。文献等を収集しフィールド演習の手法について調査し整理する（180分）。文献等を収集しフィールド演習を伴う授業の実践について調査し整理する（180分） 復習内容：各日の活動内容を振り返り、チームで共有（120分）。フィールド演習で学んだことや課題を整理（120分）。で整理した内容を個人で短いプレゼンテーションにまとめる（180分）。フィールド演習での学びを今後どのような行動で改善するかレポート作り（180分）	
第11回：フィールド演習まとめ 予習内容：フィールド演習で得られたデータや情報を整理し、成果物の構成を検討すること（120分） 復習内容：作成した成果物をチームで確認し、修正点や改善点を見つけること（120分）	
第12回：ピアレビュー 予習内容：チームで互いの成果物を評価し、建設的なフィードバックを行う（120分） 復習内容：共感性を意識しながら、相手の努力や成果を認め、改善点を提案する（120分）	
第13回：発表練習 予習内容：発表内容をチームで検討し、役割分担や計画を立てること（120分） 復習内容：発表練習で得られたフィードバックを参考に、発表内容や表現方法を改善すること（120分）	
第14回：フィールド演習成果発表 予習内容：発表内容を最終確認し、本番に臨むこと（120分） 復習内容：発表後、チームで反省点や改善点を話し合い、次の活動に活かすこと（120分）	
第15回：振り返りと検証 予習内容：フィールド演習全体を通して学んだことや課題を整理し、自己評価を行うこと（120分） 復習内容：振り返りシートを作成し、今後の学習や活動に活かすこと（120分）	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A～I型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本講義では、フィールドワークや演習を通して得られた気づきや学びを、レポートやプレゼンテーション等の形で表現する機会を設けます。これにより、学生は情報収集力、情報分析力、課題発見力、構想力を高め知識を知恵に転換する力を養います。これは、「知識を知恵に転換することができる。論理的思考力を持った人材」の育成に不可欠な要素です。 また、自己理解を求め、自身の強みを活かしたリーダーシップスタイルを確立することを支援します。 さらには得られたリーダーシップの知識やスキルは、CA等の活動で実践的に活用することができます。学生は、チームをまとめ、目標達成に貢献することで、リーダーシップをさらに向上させることができます。これは、「仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材」としての能力養成と関連しています。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
受講生間ならびに、担当教員と受講生の、相互啓発的な双方向授業を実施する。具体的には、課題解決型学習、グループワーク、プレゼンテーションさらに、授業終了後の実習が含まれている。	
実務経験の有無及び活用	
備考	